



日本シティズンシップ教育フォーラム

2020 年度 事業報告書

(2020.01.01～2020.12.31)

住所：兵庫県尼崎市次屋 1 丁目 2 番 20 号ハイツアメニティ II-203 号室

mail : jcef.edu@gmail.com web : <http://jcef.jp>

目次

1. 2020 年度事業のハイライト	2
2. 2020 年度事業実施体制	2
3. 事業報告	
(1) ネットワーキングの場の創出	4
(2) 現場の関係者を応援するメディアの制作	11
(3) 実践を広範に推進する社会環境の創造	12
(4) その他	12
4. 会計報告	別添資料参照

設立趣意書

人々の価値観が多様化した現代社会においては、市民が熟議を重ねながら、一人ひとりの問題意識に立脚した「望ましい未来像」に向けて、地域や社会の変革と創造の過程に参画していくことが重要です。市民参加の領域が今後一層広がっていく中、このような社会デザインの担い手を育てるシティズンシップ教育の社会的関心も高まってきています。既に日本各地では、幅広い世代に対して多様な形態によるシティズンシップ教育の実践と研究、政策形成が展開されていっています。こうした様々な場での取り組みが交流を通じて、現場に根ざした実践知を生成し、社会全体で幅広く活用されていくことが必要となっています。この現状を踏まえて、日本シティズンシップ教育フォーラムは、シティズンシップ教育に関係する人々がネットワーキングを進め、現場の関係者を応援しながら、実践を推進しやすい環境づくりを展開し、シティズンシップ教育の進展を図っていきます。更に、以上の活動を通じて、日本社会が能動的な市民の参加を地域や社会を創造するエネルギーに変えていく民主主義の成熟化に寄与していきます

1. 2020 年度事業のハイライト

- (1) コロナ禍に伴い、実施形態を変更の上、「子ども・若者の主体性が育まれる環境をどうつくるか？」をテーマとする「第7回シティズンシップ教育ミーティング」をオンライン開催。
- (2) 「シティズンシップ教育研究大会 2020」を開催。日本全国から 180 名の方々が申し込み。オンライン化に伴い、報告者も大幅に増加。
- (3) 定例の勉強会「J-CEF スタディ・スタヂオ」はオンラインで 8 回開催（3つの企画チームによる）、対面実施では京都と東京で 3 回開催。
- (4) 機関誌「J-CEF NEWS」19 号を発行。
- (5) 「高校生ソーシャルデザインスクール」が本格始動。高校生メンバーを中心に企画運営が進行。

2. 2020 年度事業実施体制

J-CEF では、総会に付議すべき事項や総会の議決した事項の執行に関する事項等について決議する機関

として運営委員会を設置しています。事業の推進にあたっては、総会での議決に基づいて3つの部会を設置した上で、事務局にスタッフを配置し、その執行にあたっています。

■役員（五十音順）

【運営委員】

- 代表 古田雄一（大阪国際大学短期大学部准教授）
 黒崎洋介（神奈川県立瀬谷西高等学校教諭）
- 副代表 川口広美（広島大学大学院人間社会科学研究科准教授）
 古野香織（東京学芸大学大学院教育学研究科修士課程）
- 委員 大畑方人（都立東久留米総合高等学校主任教諭／上智大学総合人間科学部非常勤講師）
 越智大貴（NPO法人こどもNPOシビックスクール理事）
 唐木清志（筑波大学人間系教授）
 川中大輔（龍谷大学社会学部講師／放送大学客員准教授／シチズンシップ共育企画代表）
 北山夕華（大阪大学大学院人間科学研究科准教授）
 斉藤仁一朗（東海大学課程資格教育センター講師）
 土肥潤也（NPO法人わかものまのまち代表理事）
 林 大介（浦和大学社会学部准教授／模擬選挙推進ネットワーク代表）
 東 大地（NPO法人Mielka理事）
 若槻 健（関西大学文学部教授）

【監事】

- 市川享子（東海大学健康学部講師）
 西野偉彦（松下政経塾政経研究所主任／慶應義塾大学SFC研究所上席所員）

【アドバイザー】

- 岡田泰孝（お茶の水女子大学附属小学校教諭）
 小玉重夫（東京大学大学院教育学研究科教授）
 長沼 豊（学習院大学文学部教授）
 杉浦真理（立命館宇治中学・高等学校教諭）
 中村陽一（立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授）
 水山光春（京都教育大学名誉教授／京都橘大学国際英語学部教授）

〈ネットワーク部会〉

- 中村陽一，斉藤仁一朗，土肥潤也，東大地，古野香織，藤枝聡（専門委員）

〈研究推進部会〉

- 川口広美，唐木清志，川中大輔，北山夕華，斉藤仁一朗，古田雄一，古野香織，桑原敏典（専門委員）

〈若者支援部会〉

○小玉重夫，越智大貴，杉浦真理，土肥潤也，中村陽一

〈出版企画検討部会〉

○唐木清志，大畑方人，岡田泰孝，川中大輔，林大介，古田雄一，水山光春，若槻健

〈J-CEF スタディ・スタジオ担当委員〉

齊藤仁一朗，古野香織，古田雄一

小田切瑞生（専門委員），浜田未貴（専門委員），別木萌果（専門委員）

■事務局

事務局長/会計責任者 川中大輔

■運営委員会開催記録

	日程	場所	議題
第 20 回	2020 年 3 月 4 日 19:05~21:00	東京大学/龍谷大学	第 7 回シティズンシップ教育ミーティング開催形態の検討、2019 年度決算案および事業報告案の承認、2020 年度予算案および事業計画案の策定、規約改正案の承認
第 21 回	2020 年 4 月 24 日 17:00~19:30	オンライン	代表・副代表の選任、2020 年度の事業推進体制の決定、COVID-19 パンデミックへの対応方針の策定、高校生ソーシャルデザインスクールの実施方針の検討
第 22 回	2020 年 8 月 11 日 13:05~15:15	オンライン	各事業の進捗報告および方向性検討、組織のあり方に関する検討

3. 事業報告

(1) ネットワーキングの場の創出

■「第 7 回シティズンシップ教育ミーティング」を開催

J-CEFでは、シティズンシップ教育に携わる様々な方々の交流や意見交換、また広くシティズンシップ教育に関心のある方々との結びつきの機会を作ることを目的として、「第7回シティズンシップ教育ミーティング」を開催しました。ただし、COVID-19 パンデミックの影響を受けて、当初計画されていた内容ではなく、全体会のみをオンライン化して実施するという変更を行いました。

【開催概要】

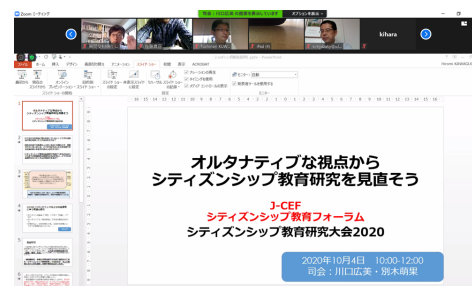
○日時：2020 年 3 月 21 日（土）13 時～15 時 40 分



- 場所：オンライン / 撮影場所：立教大学 池袋キャンパス 太刀川記念館
- テーマ：子ども・若者の主体性が育まれる環境をどうつくるか？
－「させたい社会参加」から「したい社会参加」へ－
- 共催：立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科・社会デザイン研究所
- 登壇者（所属は当時）
 - ・キーノートスピーカー
西川 正さん（NPO 法人ハンズオン！埼玉常務理事）
菅野祐太さん（認定 NPO 法人カタリバ職員，大槌町教育専門官）
住谷陽子さん（杉並区立井荻小学校教諭）
 - ・コメンテーター
中村陽一さん（立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科教授）
 - ・コーディネーター
土肥潤也さん（NPO 法人わかののまち代表理事）

■「シティズンシップ教育研究大会 2020」を開催

J-CEF では、「シティズンシップ教育」というキーワードのもと、各々の問題関心や取り組んでいる研究を持ち寄りながら、学問領域の垣根を越えた知見交流を通じて、これまでの自らの研究のあり方を振り返り、今後のシティズンシップ教育研究のありようを共に考えることを目的として、「シティズンシップ教育研究大会 2020」を開催しました。



【開催概要】

- 日時：2020 年 10 月 4 日（日）10 時～16 時 30 分
- 場所：オンライン
- 参加者：180 名（会員 33 名，非会員 147 名）
- プログラムおよびゲスト・コーディネーター（所属は当時）

▼シンポジウム

- ・テーマ：「オルタナティブな視点からシティズンシップ教育研究を見直そう」
- ・登壇者：齊藤仁一朗さん（東海大学）
佐藤貴宣さん（立命館大学）
藤根雅之さん（美作大学）
- ・コーディネーター：川口広美さん（広島大学）
別木萌果さん（岡山大学大学院）
- ・コメンテーター：桑原敏典さん（岡山大学）

〈シンポジウム実行委員〉(五十音順)

井上昌善 (愛媛大学教育学部講師)

奥村尚 (広島大学大学院)

越智大貴 (NPO 法人こども NPO シビックスクール理事)

川口広美 (広島大学人間社会学研究科准教授)

桑原敏典 (岡山大学教育学部教授)

久保美奈 (広島大学大学院)

別木萌果 (岡山大学大学院)

▼自由研究発表セッション

[第 1-1 分科会] 司会：林大介さん (浦和大学)

(1)中国における市民性育成のための法教育—新教科「道徳と法治」導入の背景と教科書の特質—

賀 延松さん (岡山大学大学院)

(2)地方セイフへの「請願」をボードゲーム化～地方自治における政治主体として合意形成・政策実現を楽しく模擬体験～

仁平貴子さん (NPO 法人 6 時の公共)

(3)「私たちの『#』で国政が動いた」ことの認識—未曾有の事態における多元的政策提言—

宮崎一徳さん (参議院事務局)

[第 1-2 分科会] 司会：唐木清志さん (筑波大学)

(1)多文化教育論から見た中国の市民性教育の現状と課題—社会系教科の教科書記述の特質とプログラムの構想—

赫連茹玉さん (岡山大学大学院)

(2)イングランドのシティズンシップ教育における児童生徒の 多様性への配慮—「基本的な英国的価値」の教授に着目して—

松田万里阿さん (筑波大学大学院)

(3)世界市民を育てる教育～外国にルーツを持つ児童生徒のアイデンティティの観点から～

伊藤光海さん (兵庫県立長田高等学校)

[第 1-3 分科会] 司会：北山夕華さん (大阪大学)

(1)オルタナティブスクールにおける子どもたちの「話し合い」「対話」に関する意識変容プロセスの検討

桑田湧也さん (京都大学大学院)

(2)シティズンシップ教育の批判的再構築—「Adulthood」から「Childism」への理論的転換—

高橋宏維さん (名古屋大学大学院)

- (3)「フェイクニュース」時代におけるメディアリテラシー育成を目指したシティズンシップ教育プログラムの開発研究
趙 徳慧さん（岡山大学大学院）

[第 1-4 分科会] 司会：若槻健さん（関西大学）

- (1)多文化共生社会を構想する力を育成するグローバル教育の設計
周 星星さん（岡山大学大学院）
- (2)包摂しない、できない、すべきでない——「洗練された自閉症」としてのシティズンシップ——
松山聡史さん（名古屋大学大学院）
- (3)青少年期における、ナナメの関係がもたらすもの
枝廣和憲さん（福山大学）

[第 1-5 分科会] 司会：川中大輔さん（龍谷大学）

- (1)コミュニティ形成の場としての博物館の役割とそのための博学連携プログラムの開発に関する研究
曹 青霞さん（岡山大学大学院）
- (2)平和教育における複数性へのまなざし—M.ハイデガーの思想を手がかりに被爆体験を芸術で表現することの可能性を考える
志喜屋七海さん（東京大学大学院）
- (3)日独の「遊びの都市」づくりにみる「市民」が現れる場
花輪由樹さん（兵庫教育大学）

[第 1-6 分科会] 司会：川口広美さん（広島大学）

- (1)市民性教育における自律的学習を促すビリーフの形成に関する研究
史 鵬宇さん（岡山大学大学院）
- (2)社会とつながる初級日本語活動を目指して
金丸 巧さん（東亜大学）
- (3)ことばで社会とつながる実践—留学生による対話型美術鑑賞と共同詩の活動—
眞鍋雅子さん（神田外語大学）

[第 2-1 分科会] 司会：古田雄一さん（大阪国際大学短期大学部）

- (1)自己責任論を乗り越えるシティズンシップ教育と教師のゲートキーピング—「貧困」を教師はなぜ・どのように扱おうとするのか—
別木萌果さん（岡山大学大学院）
- (2)アクティブな主権者の育成を目指したプログラムと評価システムの開発
山田風紗さん（岡山大学大学院）

(3)IB MYP コミュニティープロジェクトの事例-実世界との接点、プロジェクトの個別化を重視した PBL の実践-

高松森一郎さん（ぐんま国際アカデミー中高等部）

[第 2-2 分科会] 司会：井上昌善さん（愛媛大学）

(1)社会科教育に期待されるシティズンシップとは何か—アクティブな市民へのインタビュー調査に基づいて—

金縄あかりさん（岡山大学大学院）

(2)教師のコミュニティ環境における「子どものための哲学」の可能性—シティズンシップ教育の充実に向けて—

後藤美乃理さん（東京大学大学院）

(3)シティズンシップ教育に関わる学校教員の研修に関する一考察—南アフリカ共和国西ケープ州の教育省行政官と学校教員の認識に着目して—

坂口真康さん（兵庫教育大学）

[第 2-3 分科会] 司会：水山光春さん（京都橋大学）

(1)リーダーシップの育成を目指したグローバル・シティズンシップ教育プログラムの構想

高 雨さん（岡山大学大学院）

(2)ESD for 2030 とシティズンシップ教育-SDGs でのシティズンシップ教育

長岡素彦さん（一般社団法人 地域連携プラットフォーム）

(3)絆・ギャップとシティズンシップの変容—外国人保護者の PTA 役員のインタビュー調査から—

李 曉燕さん（九州大学）

[第 2-4 分科会] 司会：橋崎頼子さん（奈良教育大学）

(1)市民性教育における科学的リテラシー育成の意義と位置づけ—科学技術発展に伴う問題を考えさせるプログラムの開発を通して—

林 大智さん（岡山大学大学院）

(2)部活動でシティズンシップ教育は可能か

長沼豊さん（学習院大学） 川中大輔さん（龍谷大学）

古野香織さん（東京学芸大学大学院） 由井一成さん（学習院大学）

(3)市民を育てるのは学校だけの役割ではないから、地域総出でやってみたらどうでしょう。～福岡中発！福津市未来会議を一例として～

宮木裕子さん（合同会社あつと・こみゆにてい）

[第 2-5 分科会] 司会：桑原敏典さん（岡山大学）

(1)外国人技能実習生が直面している問題とシティズンシップ教育—キャリア開発と日本語教育に焦点化して—

HOANG NGOC BICH TRAN さん（岡山大学大学院）

(2)議論の排除性への抗い—米国ディベートの Kritik を手がかりとして—

久島 玲さん（東京大学大学院）

(3)シティズンシップ教育としての国際学生フォーラム分析—コスモポリタン・シティズンシップの観点を中心に

森山 新さん（お茶の水女子大学）

[第 2-6 分科会] 司会：齊藤仁一朗さん（東海大学）

(1)消費者市民社会の形成者の育成を目指した消費者教育プログラムの開発—成人年齢引き下げの問題を題材として—

肖 瑤さん（岡山大学大学院）

(2)私が選んだソーシャル・アクション—アクションするから社会が変わる—

林 良昭さん（国際理解研究会 みなみの風）

(3)大学の大規模授業におけるシティズンシップ教育—オンラインによるアクティブ・ラーニング実践—

佐野淳也さん（同志社大学）

■J-CEF スタディ・スタヂオの開催

シティズンシップ教育に係る報告発表やプログラム実験、合評等を通じた相互研鑽の場を定期的に設けることを目的として、「J-CEF スタディ・スタヂオ」を開催しました。

〈KYOTO スタヂオ〉

・vol.33 (1/7) 「Universal Freedom?: Assessing Cultural Change in Japan, East Asia and the West using four Decades of Survey Data」

（話題提供者：Plamen Akaliyski さん／慶應義塾大学大学院）

（コーディネーター：北山夕華さん／大阪大学大学院人間科学研究科准教授）

・vol.34 (1/19) 「フィンランド・ユースワーク視察報告～教育と福祉の境界を超えて～」

（話題提供者：森分志学さん／NPO 法人だっぴ理事・事務局長，中西亜弥さん／リーノこどもセラピー代表，山本晃史さん／認定 NPO 法人カタリバ）

（コーディネーター：川中大輔／龍谷大学社会学部講師）

〈TOKYO スタヂオ〉

・VOL.6 (2/15) 「主権者教育はどのように評価すべきか？」

（話題提供者：鶴飼力也さん／国際基督教大学高等学校・地歴公民科主任教諭）

- (ファシリテーター：別木萌果さん／東京学芸大学)
- ・ 番外編 (4/19) 「コロナ騒動の中で“市民としての私”を考える」
(メインファシリテーター：浜田未貴さん)
(ファシリテーター：古野香織さん／東京学芸大学大学院，別木萌果さん／岡山大学大学院，小田切瑞生さん／山梨大学大学院，齊藤仁一朗さん／東海大学課程資格教育センター講師)

〈瀬戸内スタジオ in 愛媛 2020〉

- ・ vol.1 (8/22) 「『社会参加』を推進する主権者教育とは!？」
(話題提供者：品川 崇さん／愛媛大学教育学部附属小学校教諭，高橋祐貴さん／愛媛大学教育学部附属中学校社会科教諭，岡島春恵さん／備前市立伊里中学校教諭・前認定 NPO 法人カタリバスタッフ，越智大貴さん & ヤンコネ中高生／NPO 法人 NEXT CONEXION)
(コーディネーター：井上昌善さん／愛媛大学教育学部講師)

〈Online スタジオ〉

- ・ vol.1 (4/20) 「授業オンライン化の流れの中で改めて大学教育を考える」
(話題提供者：松田ヒロ子さん／神戸学院大学現代社会学部准教授)
(コーディネーター：川中大輔／龍谷大学社会学部講師)
- ・ vol.2 (5/23) 「高校生は学校や社会に対して何を思っているのか？～コミュニケーションと参加のあり方を考える～」
(話題提供者：金杉龍吾さん・車世栄さん・後藤信之輔さん／学生団体 ivote)
(ファシリテーター：別木萌果さん／岡山大学大学院，浜田未貴さん)
- ・ vol.3 (7/11) 「どうすれば社会へ『わがまま』を言えるようになるのか？～『意見を言うこと』『参加すること』の抵抗感をときほぐすには～」
(話題提供者：伊藤真琴さん／お茶の水女子大学，浜田未貴さん，別木萌果さん／岡山大学大学院，古野香織さん／東京学芸大学大学院)
- ・ vol.4 (8/31) 「生徒参加の学校づくり～海外事例と日本のこれから～」
(話題提供者：山本晃史さん／認定 NPO 法人カタリバ，古田雄一さん／大阪国際大学短期大学部准教授)
- ・ vol.5 (9/20) 「私たちはどのように市民育成者になっていくのか？」
(話題提供者：後藤賢次郎さん／山梨大学大学院教育学研究科准教授)
(ファシリテーター小田切瑞生さん／山梨大学大学院)

■ 「高校生ソーシャルデザイン・スクール」の開催

政治参加や社会参加の実践や探究に取り組んでいる高校生世代の若者がネットワーキングを進めつつ、問題意識を共有し、特定の社会課題について対話を行う「高校生ソーシャルデザインスクール」をスタートさせました。高校生メンバーを中心に学生・院生がサポーターとして企画運営を進めています。

【実施プログラム】

- ・vol.1 (6/28) 「友達と政治の話がしにくいのはなぜだろう?」「黒人差別が話題だけど、私たちが『人権』を意識するのはどんな時?」
- ・vol.2 (12/20) 「誰が『普通』をつくっている?」

〈ワーキングチーム〉(五十音順)

藤原怜央 (大阪経済大学学生)

古野香織 (東京学芸大学大学院)

別木萌果 (岡山大学大学院)

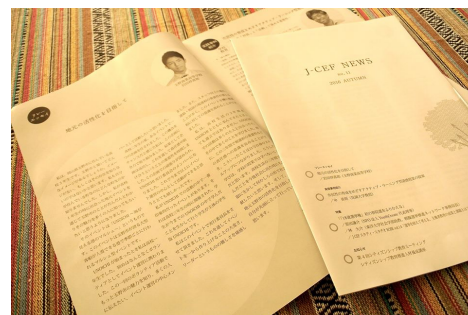
宮嶋凜 (東京大学学生)

高校生メンバー

(2) 現場の関係者を応援するメディアの制作

■ 「J-CEF NEWS」 vol.19 を発行

シティズンシップ教育の好事例を発掘・紹介し、シティズンシップ教育を深く掘り下げる記事を中心とする会報誌「J-CEF NEWS」を発行しました。また、J-CEF 会員に向けては無料配布を行いました。



【第 19 号・概要】

○判型・ページ数：A4 版 12 ページ

○発行部数：200 部

○掲載記事

- ・リレーエッセイ「『子どもの声』から生まれる学び」

／久保園梓 (筑波大学大学院)

- ・実践事例紹介 「高等教育におけるシティズンシップ教育の可能性—東海大学パブリック・アチーブメント型教育の取り組みから—

／堀本麻由子 (東洋大学文学部教育学科准教授)

- ・2019 年度「J-CEF スタディ・スタヂオ TOKYO」実施報告

- ・会員の最新刊図書紹介

■Web サイトを更新継続

本フォーラムの社会発信及び情報公開のためにウェブサイト、Facebook ページ（催事案内・開催報告）を更新継続しています。今年度よりオンライン上でのネットワーキングを強化していくため、Facebook ページに「コミュニティ」を立ち上げました。また、ウェブサイトでは会員のみがログインできる「会員専用ページ」も公開しています。

○URL : <http://jcef.jp>

■新たな出版物に関する企画検討

情報環境の変化に伴い、機関誌『J-CEF NEWS』の今後の方向性を検討し、20号でもって終刊とすることを決定いたしました。あわせて終刊に際し、掲載記事一覧を20号に掲載の上で、今後バックナンバーを当会ウェブサイトで公開していくこととなりました。新たな出版物企画については、いくつかの方向性が示され、継続的に検討していくこととなりました。

(3) 実践を広範に推進する社会環境の創造**■若者の社会発信の機会提供**

「シティズンシップ教育ミーティング」や「シティズンシップ教育研究大会」、「高校生対象ソーシャルデザイン・スクール」などの企画を通じて、社会の変革と創造をめざす実践や探究に取り組む高校生・大学生等、若者の社会発信機会を提供しました。

(4) その他

COVID-19 パンデミックの影響拡大を受けて、当会では学生・院生の会費を全額免除とし、常勤職にない会員については申請に基づいて全額免除することを決定しました。また、各種企画のオンライン化を積極的に進め、参加費も無料化していくことといたしました。一連の措置については、コロナ禍の広がりや深まりの状況を踏まえながら、次年度以降も継続するかどうかを決定するようにいたします。

4. 会計報告

別添資料参照

以上